

自ら進んで学習する家庭学習のすすめ

各務原市立蘇原第二小学校・蘇原第二小PTA

2019年度版

小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、欠かすことのできない力です。学校では、一斉指導だけでなく個別指導や少人数学習など、「個に応じた指導」の取り組みなどを通して、基礎学力を高めるための努力をしていますが、ご家庭と協力することにより、さらにその力が何倍にも高められます。

よりよい家庭学習の習慣化に向けて、この手引きをよく目にする場所に貼っていただき、お子様の学力向上にお役立てください。そして、子どものがんばりの姿を見守り、認めて、ほめて育てていきましょう。



1. 家庭での学習を習慣化しよう

◆ 学習時間のめやす

- 1学年-20分程度、2学年-30分程度
- 3学年-40分程度、4学年-50分程度
- 5学年-60分程度、6学年-70分程度

- 同じ時間、同じ場所での学習。
- 静かなところで落ち着いて学習。
- 机の上に学習に関係のないものはおかない。※低学年のうちは、子どもの姿を見て、そのがんばりを認めることが出来る台所のような場所がよい。

◆ 学習の大切なポイント

- 間違いは必ず直す(つまずきの原因を見つけて)
- ながら勉強はしない。
- 宿題→見つけ勉強、工夫した学習

2. 家庭学習の参考例(各学年共通)

(1)毎日の課題

- 音読：カードに記入し保護者が確認。
- 漢字ドリルや計算ドリル：答え合わせをし、まちがい直しをする。
- ドリルは低学年は1～3回、中高学年は2回以上繰り返し練習。

(2)自主的に進める課題

- 計算カード(1年)九九カード(2年)
- 調べ学習(例：ことわざ調べ等)
- テスト勉強 ○問題集 ○予習 ○復習
- 教科書の練習問題 ○日記 ○視写
- 新聞づくり(例：聖徳太子)
- 生き物(動物・植物)観察図
- 鍵盤ハーモニカやリコーダーの練習
- ・運動 ・歌練習 ・図工のスケッチ
- ・洗い物 ・縫い物 ・料理 ・読書

3. 各学年で身につけたい力(国語と算数を例に)

習慣づけの1年生

- ①国語で学習している文章が読める。
- ②ひらがな、カタカナが読めて書ける。
- ③助詞(て、に、を、は)を適切に使い分けて文章が書ける。
- ④120までの数が数えて書ける。
- ⑤2けたまでの整数のたし算、ひき算ができる。

壁を乗り越える4年生

- ①国語で学習している文章が、「、」や「。」を意識して読める。
- ②4年生で習う2000字の漢字のすべてが読め、1600字の漢字が書ける。
- ③国語辞典や漢和辞典を正しく使える
- ④千兆までの数が読めて書ける。
- ⑤わり算のひっ算ができる。
- ⑥コンパスや分度器を使い簡単な図形がかける。

進学に希望をもたせる6年生

- ①国語で学習している文章が、気持ちをこめて読める。また、内容や趣旨をとらえ、自分の考えをもちながら読める。
- ②小学校で習う1006字の漢字のすべてが読め800字の漢字が書ける。
- ③事実と感想、意見などを区別し、自分の考えが伝わるように話したり書いたりできる。
- ④小数、分数の+、-、×、÷の混じった式の計算ができる。
- ⑤文章の問題を正確に把握し、公式などの既習事項を使って、考え方を説明できる。

習慣が定着し始める2年生

- ①国語で学習している文章が、間違えずに読める。
- ②2年生で習う160字の漢字が読め、130字の漢字が書ける。
- ③1000までの数が数えて書ける。
- ④九九がすらすら言える。
- ⑤たし算とひき算の筆算ができる。

家庭学習の
習慣化を!
学校・家庭
と共に



「9才の壁」とよばれる3年生

- ①国語で学習している文章が、すらすら読める。
- ②3年生で習う200字の漢字のすべてが読め、160字の漢字が書ける。
- ③ローマ字の読み、書きができる。
- ④1億までの数が読めて書ける。
- ⑤かんたんわり算ができる。
- ⑥かけ算のひっ算ができる。
- ⑦重さをはかり、表すことができる。

学力に差が出始める5年生

- ①国語で学習している文章が、抑揚をつけて読める。
- ②5年生で習う185字の漢字のすべてが読め、150字の漢字が書ける。
- ③小数のかけ算、わり算ができる。
- ④割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑤分数のたし算やひき算・かけ算・わり算ができる



生活の中で習慣づけたいこと

○学力アップは規則正しい生活から「早寝・早起き・朝ご飯」

○毎日のあいさつ「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」

○ルールのある生活

テレビやゲームの時間を決める。PCやスマホ、携帯の使用のルール

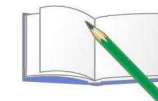
○親子のあったかいふれあい ・読み聞かせ、親子で音読、親子で日記
親子で顔を見て対話、親子で勉強、親子でスポーツなど

○「見えない学力」を高める読書

○自然や生き物とふれあい、くわしく観察

○体力を高めるため、できるだけ外遊びや運動

○心をこめて進んで家の手伝い



.